

平成30年度地域密着型金融に関する通期取組状況(H30年4月～H31年3月)

当金庫は、「地域と共生し豊かな街づくりに奉仕する。」「顧客に最良の金融サービスを提供し信頼に応える。」ことを経営理念として掲げ、創業以来培ってきたお客さまとのリレーションシップをもとに、地域金融機関としての機能発揮に役職員一同本気で取組み、「地域で最も信用、信頼される金融機関」を目指しています。

平成30年度においても、「顧客企業の経営改善等に資するコンサルティング機能の発揮」に一層注力するとともに、「地域の面的支援・活性化への取組強化」「地域や利用者に対する積極的な情報発信」の推進を通じて、引き続き金融仲介機能の発揮に向けて地域密着型金融の実践に積極的に取組みました。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

(1) 日常的・継続的な関係強化に向けた取組み

具体的取組策	通期取組状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画策定への関与と効果的なモニタリングの実施</li> <li>・商談会、相談会、セミナー等を活用した企業支援の強化、経営課題の抽出と支援策の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営支援先37先、認定支援先25先に対して、営業店と本部が定期的に訪問を行い、経営計画書の策定・進捗のモニタリングや課題解決に向けた提案・指導を継続的に実施、うち3社がランクアップ</li> <li>・販路拡大支援としてビジネスフェアや商談会の参加案内や専門家による事業承継をはじめ経営相談会への参加などライフステージに応じた支援メニューを提案</li> <li>・中小企業基盤整備機構のミラサポ専門家派遣制度を2先が利用</li> <li>・兵庫県よろず支援拠点と連携した事業承継個別相談(取引先16社利用)、バイヤー説得術ミニセミナー(取引先7社)を実施。また、よろず支援拠点サテライトにおいて個別相談を16社利用</li> <li>・活性化に向けて宍粟市・宍粟市商工会と「第4回しそビジネスサポート」の共催し開催。参加企業は、企業ブース出展37社、商談企業17社(45商談)、専門家による経営相談8社</li> </ul>

(2) 目利き能力の向上

具体的取組策	通期取組状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客企業のライフステージ等に応じた事業ニーズに対応できるように、「目利き力」の向上に向けた人財の育成</li> <li>・中小企業診断士の養成を継続して実施</li> <li>・経営者保証に関するガイドラインに対応した取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ものづくり補助金申請支援」と「当庫の支援メニュー」の勉強会を開催(4月4日・5日・6日)、事業承継基礎研修を開催(8月25日)</li> <li>・外部研修:近信協主催の「融資渉外研修会」に3名派遣、兵信協「事業性評価・コンサルティング機能強化講座」に3名派遣、兵信協主催の「融資渉外能力」に3名派遣、近信協主催の「コンサルティング機能強化研修」に2名派</li> <li>・通信講座:「法人融資渉外実践講座」3名受講、「法人融資渉外基本講座」7名受講、「中小企業融資目利き力養成講座」5名受講</li> <li>・中小企業診断士1次試験合格者(1名)が資格取得に向けスクーリングに参加中</li> <li>・経営者保証に関するガイドラインの取組状況としては、新規に無保証で融資した件数が192件、保証契約を変更した件数が1件、保証契約を解除した件数が96件、ガイドラインに基づく保証債務の成立1件で合計290件</li> </ul>

(3) ビジネスマッチングの推進	
具体的取組策	通期取組状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>外部機関、業界ネットワーク等を活用したビジネスマッチングの推進</li> <li>企業支援情報の提供と活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大手企業とのビジネスマッチング機会の創出に兵庫県信用金庫協会「川上・川下ビジネスネットワーク事業」のシーズ・ニーズ企業登録を新たに2社申請</li> <li>販路開拓に業界ネットワークを活用した各種ビジネスフェアや商談会への参加を提案。「おかやましんきんビジネス交流会」「あまがさき産業フェア」他ビジネスフェアに20社参加、信金中央金庫他の商品募集等に5社申請</li> <li>ひょうご産業活性化センター、中小企業基盤整備機構、神戸商工会議所などの販路開拓や経営力向上に繋がる情報提供並びに補助金・助成金の活用を案内。経営革新計画策定1先支援、経営力向上計画策定8先支援や補助金申請19先支援(うち承諾8先)を実施</li> </ul>
(4) 創業・新事業支援、経営改善支援、事業再生、事業承継等に向けた取組み	
具体的取組策	通期取組状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域自治体、商工団体等と連携した創業・新事業支援の取組強化</li> <li>経営課題解決に向けた支援と外部専門家派遣の活用強化</li> <li>外部機関等を活用した事業承継への取組強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宍粟市・宍粟市商工会・日本政策金融公庫との創業支援事業の協定に基づき、「創業塾」を10月に6回シリーズで開催</li> <li>創業・第二創業・新事業の創業支援に積極的に取組み融資実行44先、うち日本政策金融公庫と協調融資12先、創業計画策定支援13先</li> <li>取引先の経営課題解決に向けて、兵庫県立大産学連携機構、日本貿易振興機構(JETRO)、新産業創造研究機構(NIRO)、中小企業基盤整備機構、ひょうご産業活性化センター、兵庫県よろず支援拠点、認定支援機関など多くの外部専門機関と連携した支援実施</li> <li>公的機関等外部機関を活用した事業再生支援について、中小企業再生支援協議会を2社が利用、兵庫県信用保証協会の経営サポート会議を1社が利用、専門家派遣制度を10社が利用</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療・介護等成長分野への取組強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療・福祉分野19件435百万円、環境・太陽光分野6件183百万円、農業・林業分野4件24百万円の合計29件642百万円を取組</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代経営者を対象にした経営改善支援、事業承継等のセミナー実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若手経営者を対象に「経営者として生き抜く力とは」(10月9日)(参加者43名)・「事業承継者の心構え」(2月22日)(参加者41名)それぞれのテーマで2回のセミナーを開催</li> </ul>
(5) 外部専門家・外部機関等との連携	
具体的取組策	通期取組状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業性評価に向けた外部専門家との連携</li> <li>コンサルタント機能強化に向けた外部機関との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業性評価、コンサルティング機能の強化に公的機関等外部機関と連携した取組みを実施。ひょうご産業活性化センター「技術・経営力評価報告書」による評価書作成1社、特許庁「知財ビジネス評価書作成支援事業」2社申請し評価書作成中</li> <li>兵庫県事業承継ネットワークに参加し、事業承継診断16先実施</li> </ul>

## 2. 地域の創生・活性化支援への取組強化

具体的取組策	通期取組状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>「一般財団法人にしん地域振興財団」を通じた地域創生・活性化に向けた積極的な取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のコミュニティ活動助成事業に対し205万円を助成</li> <li>青少年健全育成助成事業に対し217万円を助成</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域自治体等と連携した地域創生・活性化に向けた取組</li> <li>地域創生に係る取組において宍粟市と協調</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宍粟市および宍粟市商工会との三者包括連携協定を締結(6月25日)</li> <li>宍粟市地域創生戦略委員会に委員として参画(6月29日、9月10日、3月18日)</li> <li>宍粟市人財フル活用プラットフォーム推進会議に参加</li> <li>宍粟市および宍粟市商工会との合同による「就業支援事業連絡会」に毎月参加</li> <li>宍粟市介護サービス事業者選考委員会に委員として出席(7月17日、2月18日)</li> <li>9月3～4日の日程で岡山県真庭への視察に当金庫から4名が参加、同視察結果を山崎経営者協会で発表(9月28日)</li> <li>島根県邑南町視察研修に参加(11月20～21日)</li> <li>「高校生向けセミナー」を実施するため、鳥取商業高等学校の視察(10月25日)</li> <li>「JUMP UP SHISO2019」企業説明会を共催(2月13日)</li> <li>西播磨地域創生戦略会議に委員として参画(7月3日)</li> <li>佐用町まちづくり推進会議に委員として参画(7月26日)</li> <li>播磨圏域成長戦略会議に出席(2月21日)</li> </ul>

## 3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

具体的取組策	通期取組状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページやディスクロージャー誌等を活用した地域の取組の情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度の「地域密着型金融の取組状況」をホームページ(6月)とディスクロージャー誌(7月)で公表</li> <li>平成30年度の「地域密着型金融の推進計画」をホームページ(6月)で公表</li> <li>西播磨地域の中小企業102社を対象にした景気動向調査を実施し、調査結果を「にしん景況レポート」として公表(4月、7月、10月、1月)</li> </ul>

## 4. その他地域貢献

具体的取組策	通期取組状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校での金融教育活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姫路市高浜小学校の生徒約30名が、生活科授業の一環として飾磨支店に来店。生徒からの質疑応答に対し職員が対応(6月21日)</li> <li>当金庫の職員親子を対象に、職場見学と金融教育を実施(8月9日、22家族、57名参加)</li> <li>宍粟市内の小中学校において金融教育を実施、山崎小学校(10月18日)、千種小学校(11月30日)、波賀中学校(12月5日)、城下小学校(12月10日)</li> </ul>

※「一般財団法人にしん地域振興財団」は、西播磨地域におけるコミュニティの形成及び地域の振興発展を図るため、コミュニティ活動、地場産業の活性化及び公共施設の整備などに対する支援を行い、地域社会の発展に寄与することを目的に、当金庫が基金の全額を拠出して設立された財団です。